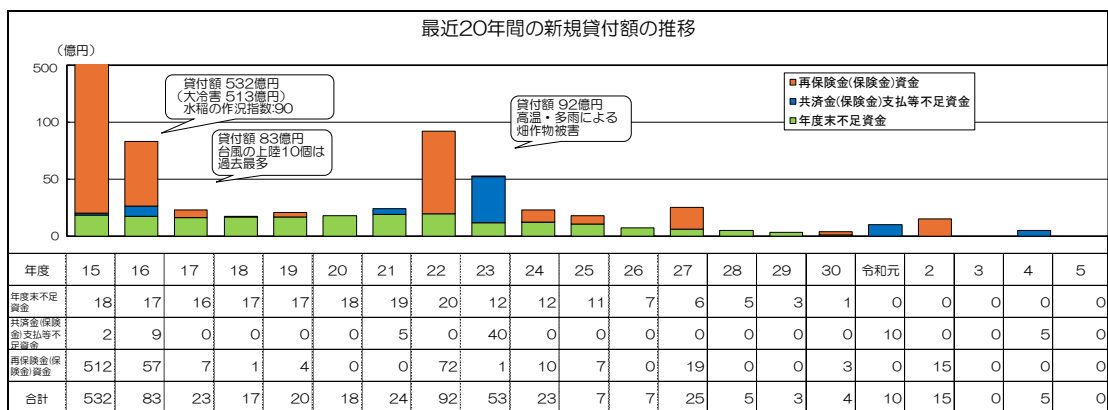


## 農業保険関係業務の動向及び今後の貸付けの見通しについて

## 1. 農業保険関係業務の貸付実績

農業保険関係業務では、これまで農業災害の発生の都度、農業共済団体で必要とされる資金の全額を無担保、無保証で貸し付けることにより、被災農業者の経営安定に寄与してきた。

しかし、近年は、農業共済組合の財務基盤の安定等を背景として、貸付実績が低調に推移しているところである。



## 2. 農業保険関係業務の貸付けの見通し

## (1) 年度末不足資金

農業共済団体の純財産のマイナス部分を貸付対象とする年度末不足資金については、農業共済団体の財務状況を見る限り資金ニーズが今後高まる可能性は低い。

## 農業共済組合の純財産の状況

(単位：百万円, %)

	令和3年度末		令和4年度末		対前年	
	全国合計	構成比	全国合計	構成比	増減	前年比
農作物	170,505	74.9	179,723	72.6	9,217	105.4
処分後積立金	170,505	74.9	179,723	72.6	9,217	105.4
繰越不足金	0	0.0	0	0.0	0	-
家畜	3,667	1.6	△ 2,866	△ 1.2	△ 6,533	△ 78.1
処分後積立金	7,938	3.5	5,280	2.1	△ 2,659	66.5
繰越不足金	△ 4,271	△ 1.9	△ 8,145	△ 3.3	△ 3,874	190.7
果樹	8,941	3.9	9,237	3.7	296	103.3
処分後積立金	9,142	4.0	9,442	3.8	300	103.3
繰越不足金	△ 200	△ 0.1	△ 205	△ 0.1	△ 4	102.1
畑作物	14,570	6.4	27,820	11.2	13,250	190.9
処分後積立金	15,065	6.6	28,446	11.5	13,381	188.8
繰越不足金	△ 495	△ 0.2	△ 625	△ 0.3	△ 130	126.4
園芸施設	30,030	13.2	33,751	13.6	3,721	112.4
処分後積立金	30,301	13.3	33,908	13.7	3,608	111.9
繰越不足金	△ 271	△ 0.1	△ 158	△ 0.1	113	58.2
合計	227,714	100.0	247,665	100.0	19,951	108.8
処分後積立金	232,951	102.3	256,798	103.7	23,847	110.2
繰越不足金	△ 5,237	△ 2.3	△ 9,133	△ 3.7	△ 3,896	174.4

出典：農業共済組合資金事情調査

(2) 共済金（保険金）支払等不足資金・再保険金（保険金）資金

共済金等支払財源の不足する額を貸付対象とする共済金（保険金）支払等不足資金及び政府からの再保険金等の支払いを待たずに共済金を早期に支払うときに不足する額を貸付対象とする再保険金（保険金）資金については、農業共済団体の財務状況から手持資金不足等になることは低いものの、近年は自然災害が激甚化・頻発化しており、被害状況によっては資金ニーズが発生する可能性はある。

(3) 農業経営収入保険事業

全国農業共済組合連合会が実施する農業経営収入保険事業については、これまで貸付実績は無いが、本事業についても災害状況によっては資金ニーズが発生する可能性は少なからずあるものと考えている。

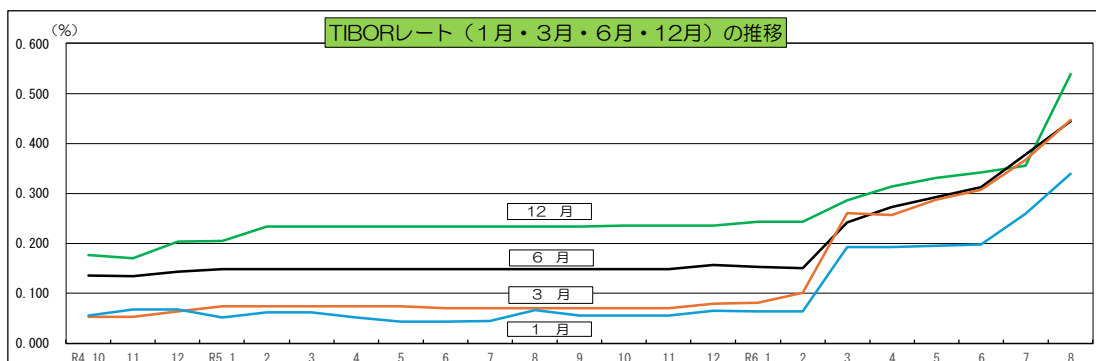
### 3. 農業保険関係業務における貸付金利の動向

(1) 農業保険関係業務における貸付金利については、

- ① 農業共済事業においては、近年の貸付実績が出資金の範囲内に留まり借入金利の影響を考慮する必要が薄いため、令和3年4月から「全銀協日本円 TIBOR レート+0.15%」を適用利率
- ② 農業経営収入保険事業においては、信用基金内で同様に借入金利を超えて、共済団体に貸付を行っている漁業災害補償関係業務と同様の金利水準として、令和5年4月から「全銀協日本円 TIBOR レート+0.35%」を適用利率としているところである。

(2) 民間金融機関からの借入金利については、マイナス金利政策解除後、明確な上昇が見られるところであるが、貸付金利の基礎となる「全銀協日本円 TIBOR レート」も上昇しており、借入金利が貸付金利を上回る事態になっていない。

(3) 今後、金利情勢等の変化によっては、貸付金利を見直すことが必要となる可能性もあるため、貸付金利の見直しを行った場合には、次回の運営委員会において報告することとする。



以上